

セレナ™・シリーズ アンジェロニア

これは初めての試み - 実生のアンジェロニア。
手軽で効率的な生産を実現しました。夏のガーデンや、
造園用としても使える夏花壇の究極的シリーズ

- セレナ™は実生品種なので、経済的かつ生産の手間大きく軽減されました
- このシリーズはピンチなしでもすばらしい分枝を期待でき、次から次へと花が上がってくるので、株の中心部のスパイク(花穂)が欠けることもありません
- セレナ™は、花壇のボーダーや商業的な造園用として用いるのであれば、暑さがきびしく、また乾燥しがちや湿気の高いところでも、最良の選択となるでしょう
- セレナ™の育苗は、施設生産であればインパチェンスのような暖地生産品目とついでに作るができます
- セレナ™は播種から出荷まで最短で14週という生産期間の短さも魅力で、さらに成苗率を示すイールドポテンシャルも85%+のみが供給されます

本品種の学名: *Angelonia augustifolia*
種子粒数: 1,000粒/グラム(ペレット種子)

発芽ステージ

培地

水はけがよく、新しく衛生的な培地を用いる。土壌 pH を 5.5-6.0、EC 値*を 0.75mmhos/cm(1:2)とする

播種

プラグトレイのサイズは 288 から 400 穴前後を推奨。播種時に覆土はしない。発芽には 4-5 日かかる

温度

発芽温度: 22-24°C
子葉展開後: 20-22°C
本葉展開後: 18-21°C
プラグステージ後期: 18-20°C

照度

発芽時: 100ルクス(10 f.c.)かそれ以上。発芽に光が必要な植物で、暗いと発芽しないので注意
発芽後: 10,000 to 30,000ルクス(1,000 to 2,500 f.c.)
プラグステージ後期: 適正な温度域が維持できるのであれば、54,000ルクス(5,000 f.c.)まで可能

湿度

子葉展開までは相対湿度を95%に維持

土壌の水分

培地は乾かさないうこと。ただしステージ 1 ではあまり過湿にし過ぎない。幼根が培地の中をはい出したら水分は少なめに切り替える。ただし苗を枯らさないように注意する。アンジェロニアは一度枯れると苗は十分回復しない

肥料

幼根発生時: 15-0-15 の肥料を 50-75ppm(N)
子葉展開時: 濃度を 100-150ppm(N)に上げる

矮化処理剤(PGR)

プラグの段階では矮化剤はほとんど不要です。必要であれば、B ナイン(同等の成分のもの)を 5,000ppm 散布すると効果がある

鉢上げから出荷まで

用土(培地)

水はけがよく、新しく衛生的な培地を用いる。土壌 pH を 5.5-6.2 とする。初期の養分が中庸の用土(培地)を選ぶ

温度

昼間温度: 19-24°C
夜間温度: 18-19°C
温度が 18°Cを下回ると生長速度が著しく遅くなるので、温度管理には注意が必要

照度

適正な温度域が維持されている間はできるだけ明るい環境を作る

かん水

極端な過湿も乾燥もどちらも避ける

肥料

週に1回程度、各栄養素を含んだ汎用タイプの肥料を 200ppm(N)与える

矮化处理剤(PGR)

試験結果によれば、B ナイン 2,500ppm とサイコセル 750 から 1,500ppm のタンクミックスの矮化剤が、アンジェロニアには最も効果があったことが確認されている。サイコセルの濃度は環境条件を見ながら調整する。温度が低めで日長も短い条件では濃度を低めに、また逆に温度が高く日長も長めの条件であれば濃度を高くする。矮化剤の開始時期は移植後 2 週をめぐり行う。矮化剤は必要であればその後も継続して散布する

ピンチ

ピンチはしない。この実生アンジェロニアは、自然で美しい分枝を生み出す性質を有しているため、ピンチすると生育が遅れるだけでなく、株の仕上がり時の形もわるくなる可能性がある

平均的な生産期間

播種から移植まで(400-288 穴トレイ使用): 5-6 週

移植から出荷適期まで: 下記

コンテナサイズ	鉢あたりの移植本数	移植からの出荷	播種からの出荷まで
306 パック ^{注1)}	1 本	8-9 週	13-15 週
10-11cm ポット	1 本	9-10 週	13-15 週
15-16cm ポット	3 本	9-10 週	14-16 週
ガロンポット ^{注2)}	3 本	9-10 週	14-16 週

注 1): ほぼ 9cm ポットと同じくらいの容積

注 2): 鉢の直径はおおよそ 15cm

予想される一般的な生育障害

害虫: 高頻度に発生する虫害は報告されていない

病気: 高頻度に発生する事例は報告されていない

花壇への植え付けについて

植え付け場所: 日あたりのよい定植する

平均草丈: 25-30cm(温度の高い地域では 46cm にまで達した記録あり)

平均株張: 35-41cm(温度の高い地域では 63cm にまで達した記録あり)

定植間隔(株間): 20cm 前後

***[注意点]:** EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合もあります。

PanAmericanSeed™

PanAmSeed.com

®および™は、Ball Horticultural Company のアメリカ合衆国、またその他国における登録商標です。

PanAmerican Seed Co.
622 Town Road
West Chicago, Illinois USA 60185-2698
630 231-1400
Fax: 630 231-3609

PanAmerican Seed Europe BV
Lavendelweg 10
NL-1435 EW Rijnsenhout, Holland
+31 (0)297-383038
Fax: +31 (0)297-383036

©2004 Ball Horticultural Company Japanese translation version
Originally printed in USA PAS05048